



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

(国際ロータリー会長 シェカール・メータ)
2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
(第2660地区ガバナー 吉川秀隆)

WEEKLY BULLETIN
**OSAKA
NAMBA**
大阪難波ロータリークラブ週報

その道を極めた人にはその人にしか言えない名言がありますが、古賀さんは色紙にはいつも、「歌は心なり」と書いていました。後年、古賀さんの後、ホストをお願いした、吉田正さんは「歌は人なり」と記していました。もう一つ、カラオケで演歌を歌う時の心得として、古賀さんは、歌は喉や口で歌うのではなく腰で歌うものだとおっしゃっていました。ご参考になれば。



5月 入会記念日 おめでとうございます

5月7日 夏 明義会員 平成10年 5月12日 伴井敬司会員 平成17年

新旧クラブ協議会議事録

伴井ガバナー補佐エレクトをお迎えして開催されました。
各委員長からの活動報告があり、ガバナー補佐エレクトから講評をいただきました。
大変有意義なクラブ協議会となりました。



これからの予定

- 5月28日(土) 地区会員増強セミナー
- 6月2日(木) 例会・新旧合同理事会
- 6月9日(木) 例会
- 6月10日(金) 新旧合同会長・幹事会(金輪会)
- 6月11日(土) 12日(日) 打ち上げ京都旅行
- 6月16日(木) 例会
- 6月23日(木) 例会
- 6月25日(土) 国際ロータリー2022年規定審議会報告会

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
5月26日(木) テーマ 「青少年奉仕の変遷」 卓話者 福田 忠 青少年奉仕 大阪難波RAC委員長	6月2日(木) テーマ 「大阪難波RC会員様からの インタビューにて学んだ事」 卓話者 三島敏宏 会員	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第22回例会 本日のプログラム

- 開会 (点鐘) 通算第2140回例会
- ・ロータリーソング「四つのテスト」
 - ・ソングリーダー 岡本真一郎 会員
 - ・来客紹介 友好委員

会食

- ・歌とピアノ 木下裕子
- ・会長報告 西原芳博 会長
- ・幹事報告 中川静夫 幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 SAA
- ・卓話

閉会 (点鐘)

♪ 四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

ニコニコ箱報告	
前回の合計	¥105,000
本日までの累計	¥2,220,000 (60%達成)
5月末の予算額	¥3,660,000

出席報告		
前回	5月19日	3週前 4月21日
会員総数	62名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率67.30%
出席会員数	42名	
出席率	75%	

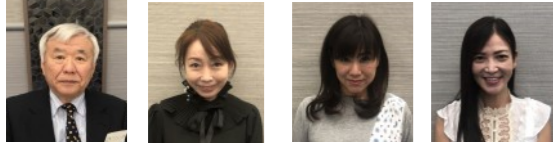
大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
 創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
 会長: 西原芳博 幹事: 中川静夫 会報・雑誌委員長: 赤坂 宏 事務局: 安部亜希子
 事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
 TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

5月は「青少年奉仕月間」です

前回の記録 第21回 5月19日(木)

★来客紹介：長崎友好委員

ゲストスピーカー 鈴木 正勝様
岡本会員のゲスト 田茂井 賀津子様
外原 ことみ様
藤原 悦子様



鈴木正勝様 田茂井賀津子様 外原ことみ様 藤原悦子様

★会長報告：西原会長

先週は新入会員歓迎会、皆様お疲れ様でした。そして、清水友好委員長はじめ友好委員の皆様、大変お世話になりました。会の中ではまるで結婚披露宴のごとく、新入会員の皆様が上のフロアから階段を下りて登場するというサプライズがありました。おじさんたちが照れながらも堂々とスポットライトをあびて歩いてくる姿はさながらカンヌ国際映画祭のレッドカーペットを歩くアカデミー賞受賞者のようでもあり、微笑ましい光景でした。さて、先週例会後に新旧合同理事会が行われ、今期の各理事から来期の各理事へ申し送り事項が伝えられました。理事以外にも友好委員会は清水友好委員長から中川次期友好委員長へとバトンが引き渡されますが、その友好の仕事のひとつ、例会時のロータリーソングを歌う時のソングリーダーは今期の岡本会員が引き続きして頂けるとの事です。毎週例会の始まりに心のこもったダイナミックな手の動きで私たちの心を癒して頂いています指揮を来期も見れるという事で非常に嬉しく思います。

このロータリーソングは世界で140曲以上あると言われ、日本にも25曲ほどあるようです。その中でも最も知られた曲のひとつが「奉仕の理想」ですが、この曲は1935年(昭和10年)日本のロータリーができて10年少し経ったくらいに京都ロータリークラブと東京ロータリークラブの合作で誕生しました。原曲は「世界に捧げん我らの生業」

だったそうですが、当時の世相を考慮して「御国に捧げん我らの生業」という今の歌に変更したようです。そして、これも我がクラブでも歌われている「我らの生業」という曲も「奉仕の理想」と同年に作られたものです。作詞は「故郷」や「おぼろ月夜」の作詞者でも知られる高野辰之氏だそうです。これら2曲は特に職業奉仕をテーマにした曲で90年近く歌われ続けています。また、私たちの友好行事の最後によく唄われてきたおなじみの曲「手に手つないで」最近1～2年はコロナ禍であり、皆で輪になって歌うことが少なくなりましたが、それまでは友好行事の定番でした。この曲は1952年(昭和27年)にロータリークラブが2地区に分かれる際にお互いに“手に手つないでいこう”と誓いあったときに歌われたそうです。これらは全て日本で生まれた曲で私たちが知っている世界共通のロータリーソングと言え「ROTARY」くらいでしょうか。世界ではシカゴロータリークラブのハリラグラス氏が例会中、話題が途切れた時に「さあ、皆で歌おう」と言い出したのが始まりでその後、例会では毎回歌い続けられました。のちに彼が第4代の会長になった事からも、それまで親睦派と社会奉仕派に2分されていたロータリーが親睦にも重きを置いた表れではないでしょうか。来期も岡本ソングリーダーが林会長エレクトのもと、例会のスタートにふさわしい笑顔をお届け続けて頂けることに感謝し、会長報告とさせていただきます。

★幹事報告：中川静夫幹事

1. 本日の週報に新旧合同理事会の議事録を掲載させていただいておりますので、ご確認ください。
2. 本日例会終了後、伴井ガバナー補佐エレクトをお迎えし、新旧合同クラブ協議会を開催させていただきます。各委員長はご出席よろしく願いいたします。また、入会3年未満の方も是非ご参加ください。
3. 6月2日例会終了後、新旧合同理事会を開

催させていただきますので、今年度と次年度の理事役員の方はご出席下さい。

4. 新入会員の飛田会員の住所録を入れさせていただきますいております。緑の手帳に貼ってご活用ください。
5. 2022-23年度のロータリー手帳が届きましたのでご活用下さい。

★委員会報告

◇友好委員会：松田副委員長

6月11日～12日打ち上げ京都旅行の申し込み締切は来週26日となります。未提出の方はご提出宜しくお願い致します。又、若干のイレギュラーはご相談ください。

★ニコニコ箱報告：秋田会員

西原芳博：新入会員歓迎会、清水友好委員長、友好委員の皆様お世話になりました。

中川静夫：新入会員歓迎会では清水友好委員長及び委員の方々お疲れ様でした。楽しい時間を過ごさせて頂きました。感謝！

荻原 奨：結婚記念日、自祝。

伴井敬司：本日のクラブ協議会、大谷ガバナー補佐欠席されますが、宜しくお願い致します。

林 博之：新入会員歓迎会、楽しかったです。ありがとうございました。

松田禎胤：先日の新入会員歓迎会、皆様お疲れ様でした。新入会員の皆様、今後とも宜しくお願い致します。

三島敏宏：新入会員歓迎会では清水友好委員長、友好委員の皆様ありがとうございました。楽しい時間感謝いたします。

右田竹郎：先週例会欠席お詫び。

本間一成：欠席お詫び。

早栗義文：ご結婚記念品、ありがとうございました。鈴木正勝さん、卓話よろしく願います。

中川博之：新入会員歓迎会お疲れ様でした。改めて六名の新入会員の皆様、ご入会おめでとうございました。

荒山義雄：初孫誕生祝い。

岡本真一郎：鈴木元ニュースキャスター、

宜しくお願い致します。

宮本倫明：例会欠席お詫び。

長田博文：欠席お詫び。

段 正峰：欠席お詫び。

飛田了介：新入会員歓迎会、開いていただき有り難うございました。

吉田 智：先日は新入会員歓迎会開いて頂き、ありがとうございました。

秋田祐作：新入会員歓迎会、ありがとうございました。

★卓話 テーマ「もう一度、会いたい人」

卓話者 鈴木正勝氏

卓話担当者 岡本真一郎会員

岡本さんとの出会いは30年前になります。当時私はアナウンサーを引退してテレビショッピング会社の社長をしていました。そこへ彼が中国産の化粧品を持ち込み売ったところ、これがバカ売れし、以後、今日まで公私にわたるお付き合いが続いています。

私は23歳から50歳までは、関西テレビのアナウンサーをしていましたが、35歳までは、芸能関係、以後50歳まで、夕方のニュースキャスターとして毎晩お茶の間にお邪魔していました。

さて、今日は講演のタイトルが、「もう一度会いたい人」ということで、私が30歳前後5年間担当していた歌番組「シャボン玉アワー・古賀政男とともに」についてお話しします。

歌謡曲の全盛期は昭和30年代から平成のはじめまでというのが定説です、NHKの黄金の椅子、TBSのベストテン、フジテレビの今週のヒット速報などなど、これらの番組はすべて東京局の制作で関西発の歌謡曲番組はありませんでした。東京から歌手を呼んで、フルバンドをスタジオに入れて歌番組を作るには経費がかかりすぎ、スポンサーもいなかったからです。

ところが昭和43年大阪城東区に本社を構える、牛乳石鹸の社長が、古賀政男さんの大ファンで、古賀さんを中心にした番組を作りたいと話しているという情報が、代理店から入り番組が始まりました。1回目は古賀さん他、弟子の猪俣公章、歌手は森進一、当時CMをしていた扇千景さんでした。